

うしおえ

潮江小学校だより 第9号

令和5年6月7日

文責 藤川 尚司

前号で運動会の様子をご紹介しましたが、あらためて保護者の皆様、地域の皆様のご協力に感謝いたします。会場や会場周辺での大きな混乱もなく、制限の緩和された運動会を行うことができました。応援の皆様のお力をお借りしながら、行事運営をしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

さて、運動会が終わってすぐに四国地方は梅雨入りを迎えました。入梅前に運動会を終えることができたのはとても幸運でした。これからしばらくはじめじめした気候が続く、蒸し暑さが増してきます。体調を崩しがちな時期になります。健康に留意して、元気に夏を迎えましょう。なお、これからはますます熱中症のリスクが高まってきます。保護者の皆様にはご負担をおかけしますが、毎日の水筒のご準備をよろしくお願いいたします。

かさくるくる



梅雨に入り、雨の日が多くなりました。子どもたちにとっては、外に出て元気に運動場を駆け回ることができない日が増えて、なんとも悩ましい時期です。そんなうっとおしい季節の中であって、子どもたちの行動に気持ちよさを覚えることがあります。それは潮江小学校伝統の「かさくるくる」です。

かさをさして登校した子どもたちは、昇降口でいったん立ち止まります。そして、傘の水滴を切って、くるくると巻いて、傘立てに立っています。低学年から高学年まで、みんながそろって同じように傘を立ててから教室へ向かいます。とても簡単なふるまいのようですが、みんながそろって傘くるくるしていることは、実に立派なことです。傘をくるくる巻いて立てるだけで、あとから来た子が



格段に傘立てを利用しやすくなります。見事だなあと、いつも感心させられます。

社会の中で他者と気持ちよく過ごすためには、様々な心掛けや行動が求められますが、時に人間はめんどくさかったり、自分本位になったりして、周りへの配慮やマナーをおろそかにしがちです。だからこそみんなと生きていく上で大切なことは、よい習慣を身に付け、場や状況に合わせた行動を自然にとれるようにすることです。こうしたよい習慣は、美しく、好ましい身ごなしとなって表れ、その人の人間性をうかがわせるものにもなります。習慣が第二の天性と言われる所以です。

本校では子どもたちに「3つのあたりまえ」を示し、その中に「そろえる」という目標を掲げています。かさくるくるは、本校の「そろえる」目標の象徴的なふるまいとなっています。よい習慣を身に付けるには時間がかかりますが、根気強く「毎日が練習」の心を持って、当たり前な気持ちよい生活を送る習慣をこれからも大事にしていきます。

いのちの電話

本校では、始業時刻の8時25分に登校が確認できない児童のうち、ご家庭から連絡のない場合に、安否確認のため電話連絡を行っています。近年、様々な児童を取り巻く状況がある中、学校には児童の安全を守るための確実な対応が求められています。そのため、毎朝の確認連絡を「いのちの電話」と位置づけ、担当職員から保護者の方にお電話をしています。

欠席の連絡は保護者の方からいただくことが多いのですが、遅刻の場合にはご連絡をいただけないことがあります。そんな時、いのちの電話をいたしますと、「え？まだ登校していないんですか？」と、驚かれる保護者の方もいらっしゃいます。本校は交通量も多く、登下校には思わぬ事故などに遭うリスクもあります。これからもいのちの電話を継続してまいりますので、ご協力をお願いします。

なお、前段にも触れた近年の状況にあって、登校確認ができず、保護者の方にもご連絡がつかないことが重なる場合、学校は児童の安全や見守りをする関係機関等への情報伝達をしなければなりません。ご理解とご協力をお願いいたします。

中舎外壁工事

先日、別途お手紙でお知らせしました中舎の外壁工事について、6月12日(月)から工事を始めることになりました。まずは中舎周辺に足場を設営する作業が行われます。工事は、天候にもよりますが、基本的に土曜や日曜にも行われることになっております。ご案内のとおり約5か月間の工期となります。期間中は何かとご不便、ご迷惑をおかけすることになるかと存じますが、ご協力をお願いいたします。